

■西暦 洋学者、啓蒙家。近代哲学の最初の移植者で、“哲学”“理性”“主観”等の語を考案、軍人精神確立にも寄与。

にしあまね

シボムト追放・1829＝ 石見国(島根県)津和野で、代々藩主に仕える藩医の家に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝ 8歳：
適塾ホヰン・ 1838＝ 9歳：

天保改革始・1841＝12歳：藩校に入学。

阿部正弘首座1845＝16歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1847＝18歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1848＝19歳：一代還俗を命じられて儒学を修業するうち、藩の朱子学を離脱して徂徠学に傾き、
北斎没・ ・ ・ 1849＝20歳：藩の許可を受け、大坂に遊学、後藤松陰塾に入る。

万次郎帰国・1852＝23歳：岡山でも学んだ後、帰藩。

ペリー来航・1853＝24歳：くペリー来航>にあたって江戸に派遣され、時勢の急迫を感じて蘭語を学ぶ。

開国開港・ ・ ・ 1854＝25歳：脱藩して江戸に出、洋学を学びはじめ、杉田成卿・手塚律蔵に入門、
さらに中浜万次郎に英語を学び、江戸洋学者の仲間となる。

松下村塾・ ・ ・ 1856＝27歳：手塚律蔵に勧められイギリス学を開始。

蕃書調所・ ・ ・ 1857＝28歳：洋学校蕃書調所開設に伴い、津田真道・加藤弘之とともに教授手伝並となり、

西洋の哲学・経済など人文社会諸科学の学習を始め、

桜田門外変・1860＝31歳：

生麦事件・ ・ ・ 1862＝33歳：幕府派遣留学生として津田真道らとオランダに留学。

ライデン大学のフィセリング教授から政治、経済等を学び、留学中コントの実証主義やJ. S. ミルの功利主義、およびカントの恒久平和の思想に感銘した。

薩摩藩士密航1865＝36歳：帰国して、

薩長同盟・ ・ ・ 1866＝37歳：*開成所教授職となり、「万国公法」を訳出。

大政奉還・ ・ ・ 1867＝38歳：京都で將軍徳川慶喜にフランス語を教授、大政奉還に際し慶喜のために“議題草案”を起草し、

明治維新・ ・ ・ 1868＝39歳：「万国公法」を刊行した。沼津兵学校頭取を経て、

初の日刊新聞1870＝41歳：*兵部省に出仕すると明治新政府の軍制整備に活躍。家塾育英舎を開設し、「百学連環」を講述。

廃藩置県・ ・ ・ 1871＝42歳：宮内省侍読を拝命。

学問のすすめ1872＝43歳：森林太郎(森鷗外)を自家に寄宿させる。

明治6年政変 1873＝44歳：明六社の結成に参加し、

佐賀の乱・ ・ ・ 1874＝45歳：「百一新論」「致知啓蒙」。*{明六雑誌}に次々と寄稿して啓蒙思想期の第一人者となった。

初の民間工場1875＝46歳：ヘヴン著「心理学」と、

三つの反乱・1876＝47歳：御用掛となって、宮中御談会などで進講、

西南戦争・ ・ ・ 1877＝48歳：J. S. ミル著「利学」を訳して、哲学、理性、主観等の哲学用語を考案し、近代哲学の最初の移植者となる。

大久保暗殺・1878＝49歳：独立した参謀本部に出仕、山県有朋の命で「軍人訓誡」を起草、

琉球処分・ ・ ・ 1879＝50歳：東京学士会院開設に当たり創立会員となり、のち会長、

・ ・ ・ ・ ・ 1880＝51歳：「軍人勅諭」の初稿を起案し、

明治14年政変1881＝52歳：文部省御用掛兼東京師範学校校長となる。

新体詩抄・ ・ ・ 1882＝53歳：元老院議員。「軍人勅諭」発令で軍人精神の確立に寄与。

岩倉具視没・1883＝54歳：*宮内省の「大政紀要」の編集委員長となるが、脳病を発し、以後公職を退き、

帝国憲法発布1889＝60歳：仙台・関西に遊ぶ。

帝国議会始・1890＝61歳：貴族院議員に勅撰。

大本教・ ・ ・ 1892＝63歳：大磯の別荘に退隠。

日清戦争始・1894＝65歳：

八幡製鉄始・1897＝68歳：没した。